

特別支援学校の教育活動と SCERTSモデルの関連

SCERTS研究会

SCERTSの支援目標と自立活動の内容

- 2 心理的な安定
- 3 人間関係の形成
- 6 コミュニケーション

※選択した項目を相互に関連づける
⇔ 発達の交流モデル

自立活動の指導

(小学部・中学部学習指導要領, 第1章第2節第1の4)

学校における自立活動の指導は、**障害による学習上又は生活上の困難**を改善・克服し、自立し社会参加する資質を養うため、**学校の教育活動全体を通じて**適切に行うものとする。特に、自立活動の時間における指導は、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動と密接な関連を保ち、個々の児童又は生徒の障害の状態や**発達の段階等を的確に把握**して、**適切な指導計画**の下に行うよう配慮しなければならない。

障害による 学習上又は生活上 の困難

- ・社会コミュニケーション
- ・情動調整

日常場面の観察によるアセスメント(SAP-O)
子どもの機能的な力に焦点

学校の教育活動全体を通じて

- ・文脈横断的な学習観 水平的発達の視点
- ・アクティビティベースの介入
- ・MA&PAアプローチ
- ・アクティブ・エンゲージメント

適切な指導計画

- ・アセスメント項目 ⇒ 指導目標
- ・手立てとしての交流型支援
- ・ MA&PAアプローチ
- ・一貫した支援

発達の段階等を的確に把握

SAP-O フォーム：言語パートナー段階 (page 3)
社会コミュニケーション

子どもの名前:

| 1期 | 2期 | 3期 | 4期 | シンボル使用(SYMBOL USE) |
|----|----|----|----|---|
| | | | | 1 身近または身近でない動作やことばの観察や模倣によって学習する |
| | | | | SU1.1 モデルの直後に身近な動作やことばを自発的に模倣する |
| | | | | SU1.2 モデルの直後に身近でない動作やことばを自発的に模倣する |
| | | | | SU1.3 自発的に動作やことばを模倣し連った行動を加える |
| | | | | SU1.4 後に、異なる文脈で、様々な行動を自発的に模倣する |
| | | | | 2 身近な活動や身近でない活動の中で非言語的な手がかりを理解する |
| | | | | SU2.1 身近な活動や身近でない活動で、状況の手がかりとジェスチャーの手がかりに従う(=SR4.2) |
| | | | | SU2.2 接触を伴う点と距離を伴う点を追隨する(=JA2.2) |
| | | | | SU2.3 視覚的手がかり(写真や絵)を用いた指示に従う |
| | | | | SU2.4 表情やイントネーションの手がかりに対して応答する |
| | | | | 6 文脈の手がかりなしで様々なことばや語連鎖を理解する |
| | | | | SU6.1 自身の名前に応答する |
| | | | | SU6.2 様々な身近なことばやフレーズに応答する(=SR1.6) |
| | | | | SU6.3 文脈の手がかりなしで様々な名前を理解する |
| | | | | SU6.4 文脈の手がかりなしで、様々な関係語を理解する |
| | | | | <input type="checkbox"/> a. 行為 <input type="checkbox"/> b. 修飾 <input type="checkbox"/> c. 疑問詞 |

・SAP-O

OSとしてのSCERTS

自立活動の時間における指導は、専門的な知識や技能を有する教師を中心として、全教師の協力の下に効果的に行われるようにするものとする(小学部・中学部学習指導要領、第7章第2節第3の6)。

- ⇒ チームアプローチ
- ⇒ 様々な方法論の尊重